

目次



- [操作方法](#)
 - [設定内容の詳細](#)

長期保存キャビネットに保存された文書に対してAI-OCRを実行する対象文書やページ範囲を設定できます。

AI-OCRは1ページ単位で利用数としてカウントされます。
そのため、複数ページの文書や添付ファイルをOCR対象とする場合、対象ページ数に応じてAI-OCRの利用数が増加します。
運用方針や利用状況に応じて、OCRを実行する範囲を設定してください。

操作方法

管理者画面

1. 左側のメニューから [全文検索] > [全文検索設定] をクリックします。
2. 「OCR対象設定」にて、AI-OCRの実行範囲を設定し、[更新] をクリックします。

OCR対象設定

添付ファイル

☐ 対象とする ☒ 対象としない

複数ページのファイル

☒ 1ページ目のみ対象とする ☐ 全ページ対象とする

自動保管の対象

☒ インデックスが未登録の文書のみ対象 ☐ 全ての文書が対象

複数タブの回覧

☒ 1タブ目の文書のみ対象とする ☐ 全タブの文書を対象とする

更新

設定内容の詳細

添付ファイル

設定項目：対象とする / 対象としない

回覧文書に添付ファイルが含まれている場合、その添付ファイルをAI-OCRの対象とするかどうかを設定します。

複数ページのファイル

設定項目：1ページ目のみ対象とする / 全ページを対象とする

回覧文書が複数ページで構成されている場合、OCRを実行するページ範囲を選択します。

自動保管の対象

設定項目：インデックスが未登録の文書のみ対象 / 全ての文書が対象

自動で全文検索（AI-OCR）の対象に登録する際の条件を設定します。

インデックスのステータスが「登録済」または「登録中」の文書を、自動保管時のOCR対象とするかを選択できます。

複数タブの回覧

設定項目：1タブ目の文書のみ対象とする / 全タブの文書を対象とする

回覧文書が複数のタブで構成されている場合、OCRを実行するタブ範囲を設定します。

【関連リンク】

管理者向け

[・ AI-OCR利用回数の確認と回数超過時の設定](#)

利用者向け

[・ 文書管理 AI-OCR機能の利用方法](#)